

商工会議所における「教育支援・協力活動に関するアンケート調査」

集計結果

日本商工会議所
平成21年9月4日

【調査概要】

1. 調査目的	教育再生のための課題は多岐にわたるが、中でも「社会総がかりでの教育」については、地域総合経済団体である商工会議所こそ中核を担うに相応しい組織であることから、地域における教育活動にさらに主体的に参画・支援していくことが求められている。当所では、これまで各地域において取り組まれてきた事例を収集し、各地商工会議所における今後の教育に対する支援・協力の参考として提供するため、標記調査を実施した。
2. 調査期間	平成21年5月11日（月）～8月18日（火）
3. 調査対象	全国515商工会議所
4. 回答商工会議所数	365商工会議所（回収率：70.8%）
5. 調査方法	イントラネット

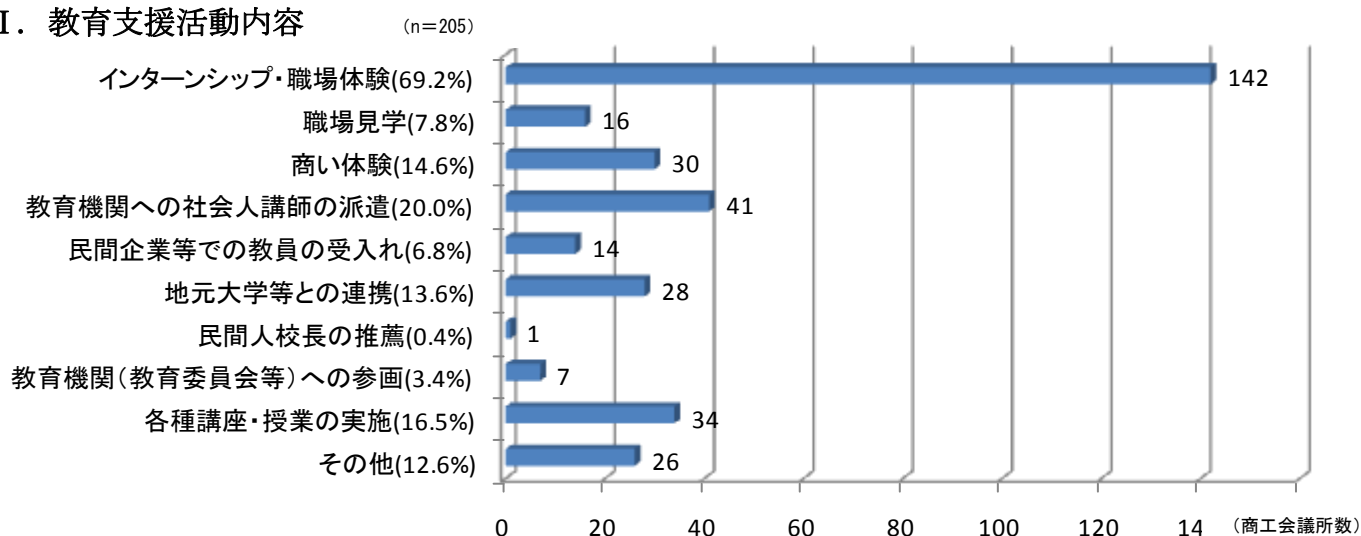
■商工会議所における教育支援活動の現状

I. 主体的に教育支援・協力活動に取り組む商工会議所

205商工会議所（368事業）

前回調査（平成20年4月調査）時の190商工会議所から205商工会議所へ増加。

II. 教育支援活動内容



その他の内容：環境教育、教育関係委員会設置、教育旅行誘致、児童交流事業、若年者就職支援、各種イベントの実施等

<インターンシップ・職場体験> 142商工会議所 160事業

CODE	会議所名	事業名	対象		事業内容
102	小樽			高校	市内高校のインターンシップ受け入れ。(2日間)
103	札幌	インターンシップ		高校 大学	高校生・大学生に対して、数日間の現場における就業体験の場を提供することで、将来、仕事に就く際の望ましい勤労観や職業観を育成するための支援を行なう。実際に働いている現場を見学させたり、簡単な作業を経験させることによって、職場の環境や雰囲気を感じ取らせ、単なるイメージではない、現実の職場の状況を見学・生徒に理解してもらおう。
106	釧路	釧路高専地域振興協力会		大学	1. 釧路高専を活用した企業人材育成 2. 共同研究 3. 会員企業社員による専攻科学生に対する特別ゼミナール 4. インターンシップ受け入れ 5. 学生の研究発表会の開催等。
113	滝川			高校	高校生を対象としたインターンシップの受入。
			中学校		中学生を対象とした職場体験を支援する、「滝川市キャリア教育実行委員」に委員として出席。受入企業の紹介等を行った。
123	名寄		中学校	高校	企業の紹介
129	美幌			高校	生徒の受入れ、事業所の紹介
133	伊達			高校	インターンシップ・職業体験
135	留辺蘂			高校	地元高校より受け入れ依頼の生徒を3日間にわたり職場体験を行う。
138	千歳			高校	地元高校からの要請により、3日間の受け入れを行っている。
203	八戸	インターンシップ		大学	地元大学の学生を対象に、1週間程度の受け入れを行っている。
301	盛岡			大学	7日間の日程で大学生8名を受け入れ、商工会議所の業務、OA化の目的とデータ作成、盛岡市の商工業、商店街視察、中小企業支援業務の体験と学習などの研修を実施した。
303	一関	職場体験学習 ～14歳・地域に学ぶ5日間～		中学校	一関市内の中学校17校において、2学年生徒を対象に、可能な限り実際の勤務内容に近い、5日間連続の勤務体験。当所も2名の受入れ、職場体験学習を行う。
		小学生お仕事探検隊	小学校		子供たちが、地域の協力を得ながら身の回りにある仕事を見つめ体験することによって探究心や創造力、コミュニケーション能力、さらにはチャレンジ精神を養い、生きる力や考える力を養う。 ①第1日目 職場見学 ②第2日目 実習体験 農産加工(豆腐づくり)物づくり体験(水笛づくり)
304	宮古			高校	市内の専門高校(商業、工業)が、2～3日間職場体験を実施している。会議所として、受入先企業を推薦折衝、開拓するなど協力している。
305	花巻	インターンシップ・職業体験学習講座		大学	・花巻商工会議所業務について、・花巻市産業まつり企画運営について、・イベント運営・会場整理等
306	水沢		小学校	中学校	総合学習の授業の一環で受入を行っている。内容は街づくり、祭典関連が多い。
				高校	高校は、インターンシップ受入の事業所紹介を行っている。5社程度紹介している。
				大学	大学生は、インターンシップとして県内の大学生の受入を行っている。内容は職場体験として、日常業務や祭典業務を体験させている。
308	大船渡			高校	受入事業所の選定と連絡調整。
401	仙台			大学	商工会議所として、市内複数大学から毎年20名程度のインターンシップ受入を行っているが、事業として実施しているというよりは、入会している学校に対するサービスの性格の事業。
601	山形	山形商工会議所ジュニア・インターンシップ事業		高校	①事前セミナー「インターンシップって何のため？」(対象:山形市内12校の高校2年生300名)、②面談会、③コンピューター適正診断、④実習(2～5日間)
603	鶴岡	ものづくり体験インターンシップ事業	中学校	高校	主に中学校、高等学校生徒を中心に、製造業の現場実習を体験できる企業実習を実施。企業実習を円滑に進めるための企業事務局として、希望する学校と企業の窓口調整を行う。
605	新庄	キャリア教育推進事業		高校	インターンシップ推進
606	長井	キャリア教育ウィーク		中学校	地元中学校2校及び教育委員会では、2年生を対象に3日間の職場体験を実施しており、生徒を受け入れてもらえる職場拡大の協力をしている。具体的には当所の会報にチラシを入れてPR。教育委員会及び中学校に対しては、DM用の事業所リストを提供。
702	郡山	郡山地域インターンシップ推進事業		大学	県内在学中の学生及び県外で就学中のU・ターン希望の学生が、主に県中県南地域の企業にて、数日から2週間程度の間、就業体験を行う。
703	会津若松	ジュニアインターンシップ		中学校	地域内の中学校が「総合的な学習の時間」で行なう職場体験学習に対して、当所が受入事業所を斡旋する。
704	いわき	インターンシップ事業		大学	大学、高専、専門学校等の学生が夏休み等の長期休暇を利用し、自らの専攻、将来のキャリアに関連した企業で一定期間就業体験を積む制度であり、現場における就業体験を通じ、自主性、独創性など実施社会に適應できる人材の育成を目的としている。
705	白河			大学	インターンシップ体験希望学生の受入。商工会議所の業務補助、社会人としてのビジネスマナー等を指導。
				高校	産業現場実習生の受入。商工会議所の業務補助、社会人としてのビジネスマナー等を指導。
706	原町			高校	高校生以上を対象とした、インターンシップ受入事業の実施
801	新潟			大学	当所事業説明、職場体験(10日間)
802	上越	上越市キャリア・スタート・ウィーク 上越「ゆめ」チャレンジ		中学校	上越市内の全中学校(22校約1,900名)が当所の会員事業所で5日間の職場体験学習を行う。人材育成、地元企業への雇用促進を目的として、平成18年度から実施している。チラシを配布し、各会議でも受け入れを要請するなど、受け入れ企業の確保に努めている。
901	富山			大学	インターンシップ受け入れ

904	射水	ジュニア・インターンシップ			高校	高校2年生を対象に、職業意識形成支援事業の一環として実施。実施日：11月13日、14日、17日の3日間、9:00～16:00、参加者40名、実習受入企業15社。	
1002	小松				高校	小松商工会議所に地元商業高校生の職場体験を毎年2名受け入れ。	
1006	珠洲	地域と共に「わく・ワーク(Work)体験事業		中学校		石川県内の全中学校で職場体験学習を実施。生徒の受入をしている。	
1101	上田	インターンシップ推進事業			高校	大学	インターンシップ推進事業
1102	長野					大学	地元大学の学生受入
1103	松本					大学	松本大学及び松本大学松商短期大学部のインターンシップ受入・協力企業の募集
1109	伊那			中学校			3日間実施
						大学	現在日本商工会議所からの支援で準備中
1203	古河				高校		インターンシップ受入事業
1204	日立	茨城県地域産業担い手育成事業			高校	大学	茨城県の県北地域における産学官(工業高校等、電気機械関連産業、商工会議所、大学)の連携を強化し、ものづくりを支える専門的職業人の育成プログラムを開発し検証する事業。生徒の企業実習、企業技術者等の学校での実践的指導、教員の企業等での高度技術修得、専門高校等と企業・大学との共同研究などが主な事業。
		日立市職業探検少年団	小学校	中学校			地域や企業との係わりの中から働くことの楽しさや自ら考えることの大切さを子供達に実感してもらう
		職場体験事業			高校		市内、工業高校(1校)の1年生を対象に製造業、自動車整備業の会員事業所に受入依頼し、3日間の職場体験を行うもの
1302	宇都宮	若年者地域連携事業(高校対象)、宮っこチャレンジ(中学対象)		中学校	高校		県内高等学校によるインターンシップ受入事業所の開拓 県内中学校によるインターンシップ受入事業所との調整・連絡等
1304	鹿沼				高校		地元高校生のインターンシップ受入れ事業
1401	高崎				高校	大学	地元高校、大学及びインターンシップ受入事業に協力し、年間を通してインターンシップ実習生の受入を積極的に行っている。
1502	川口	工業高校等実践教育導入事業			高校		生徒と教員のインターンシップ、企業技術者による特別授業など。
1503	熊谷	工業高校等実践教育導入事業			高校		インターンシップ・デュアルシステムの受入企業の発掘企業見学や保護者を交えての座談会を開催。また、教員の企業研修や企業技術者による特別授業の実施等。
1504	さいたま	工業高校等実践教育導入事業			高校		平成19年度からの継続事業。(3年間)経済産業省、文部科学省が連携し実施。当所は県立大宮工業高校との連携により実施。メニューはインターンシップ・デュアルシステム・企業技術者による実践的指導・教員の企業研修・課外活動支援等
		さいたま市技術伝承等企業育成事業			高校		さいたま市より事業委託を受け実施。県立浦和工業高校と連携して取り組んでいる。メニューはインターンシップと企業技術者による実践的指導。
1509	深谷	深谷市インターンシップ			高校		市内在住・在学の高校1・2年生を対象としたインターンシップ事業の実施。
1513	飯能					大学	①会議所と商店街の共同出資による「(有)フォレストバレー」にて大学生の職場体験を受け入れしている②地元大学との連携により、広報・PR活動を行っている。
1514	上尾	上尾・桶川・伊奈地域雇用対策協議会インターンシップ事業			高校	大学	上尾市、桶川市、伊奈町の行政と地域経済団体、産業界、高校・大学等の教育機関で構成される協議会にて、若年者の就業意識を醸成し、適切な職業選択を促進するとともに、企業と学校の連携や若年者の労働力を確保することにより、地域産業の活性化を図る目的で実際に就業体験を実施する。
1515	狭山	クラフトマン21(狭山地域)～工業高校等実践教育導入事業			高校		埼玉県が事業を受け、県内4地域～川口・埼玉・熊谷・狭山が現場として事業実施。地元の工業高校と会議所が連携をとり事業実施する。狭山の場合、インターンシップ(2年生希望者：20名程度)・工場見学(1年生全員)・出前講座(企業人が工業高校で授業実施：年間10コマほど)・ロボプリント(高校と中学を結びライトレールロボットの作成)等を実践している
1602	千葉	インターンシップ事業				大学	市内にある6つの大学の学生と事業所(企業・団体)との橋渡しを行った。参加学生13名 受入事業所7社
1606	松戸					大学	学校で学んだ知識や技術をもとに実務能力を身につけさせる。
1611	八街				高校		事業として実施はしていないが地元の県立高等学校の要請を受け、毎年インターンシップ(就業体験学習)生徒3名を2日間受け入れている。
1612	東金				高校		地元商業高等学校の生徒数名を受け入れ、軽微な事務作業や管内巡回に同行させるなどの職場体験を実施している。
1614	市原				高校		県立鶴舞桜が丘高等学校よりインターンシップ実施生徒の受入先紹介について依頼があり、当時として会員事業所10社を紹介している。
1615	習志野					大学	和洋女子大から夏休みを活用して5日間の職場体験学習
1616	成田				高校		地元、県立西陵高校・生産流通課3年生生徒のインターンシップを、会員事業所10企業にて実施。(H20実績32名を計12日間)
1701	東京	各支部における教育支援事業	小学校	中学校	高校		地域の小・中・高校生等を対象とし、職場見学の受入、職業体験・インターンシップの受入、社会人講師の派遣、スポーツ等の指導員の派遣等が可能な企業に登録を募り、学校・教育委員会からの要請に応じ、連絡・調整等を行う(例：新宿総合学習サポート事業、荒川区教育支援ネットワーク事業、すみだ教育支援ネットワーク等)。子どもの理料離れを防ぐため、ロボコン、モノ作り教室、東大見学等を実施(例：荒川区自然科学フォーラム等)。企業支援事業として職場体験の受入企業の募集協力、セミナー等を各支部にて実施。
1702	八王子	3日間社長のカバン持ち体験事業				大学	従来型のインターンシップとは異なる新しいスタイルのインターンシップとして企画。行政、地元NPOとの協働で実施。学生が地元中小企業経営者のカバン持ちを3日間体験し、企業経営の最前線を体験し、それらを自らのキャリアデザイン形成に役立てることを目的とする。
		中学生の職場体験支援事業		中学校			市内の38校の中学校が職場体験事業を実施するにあたり、平成19年度に八王子商工会議所ホームページ上に、マッチングサイトを立ち上げた。事業所に地域社会貢献の一環としてエントリーしていただき、中学生が実際に事業所でそれぞれの職場を体験する。

1707	町田	町田市中学校2年生職場体験事業		中学校		子供たちが一人ひとりの「生きる力」を育むために、学校、家庭、地域社会が連携して「大人」が「仕事」を通じて子供たちに接していくことが、自分の生き方を考える「未来探し」を応援することを目的としている。	
1708	多摩	「未来を招く職場体験」		中学校		多摩市立中学校の2年生全員が多摩市内の事業所へ1週間職場体験を行うにあたり、商工会議所が事業所との橋渡しをする。	
1801	横浜	横浜インターンシップ制度事業			大学	横浜市内に本部を置く9大学と連携し、市内大学の学生の就労意欲の高揚と市内企業の人材確保の促進を目的に実施しており、学生を対象とした「ビジネスマナー講座」を開催のうえ、平成20年度は122名の学生を当所会員企業39社が受け入れた。	
1802	横須賀	中学生“自分再発見”プロジェクト		中学校		中学2年生の総合学習の時間を体系化し、社会人との交流により、職業観・勤労観に対する興味や今後の学習への意欲・関心事につながる教育カリキュラムを、商工会議所が主体となり、市・市教育委員会とともに作成し、体験させるプロジェクト。	
				高校	大学	・高校生、大学生を対象としたインターンシップ受入れ事業・職場体験(インターンシップ)受入れ事業所の教育機関への紹介	
1803	川崎	川崎インターンシップ事業			大学	市内7大学の学生を、川崎市内企業での就労体験を提供することにより、職業意識を醸成し、職業選択の一助となる専門知識の習得など勉学意欲向上を目指す。	
1809	秦野	インターンシップ受入事業			大学	産能大の学生を1名、10日間受け入れ、職場実習をしている。	
2001	静岡				大学	2週間のインターンシップ(学生)の受け入れ(2つの大学から)	
2003	沼津	沼津インターンシップ推進事業			大学	地域の中小企業が地域人材を確保する場として平成17年度からインターンシップを実施しており、これまでは、若年層のものづくり離れが顕著となっていることから製造業を対象としてきたが、学生からは受入先候補企業に金融機関や小売業、サービス業と多業種のニーズが寄せられたため、平成19年度からは業種を限定せず当所会員企業を対象に募集をし、製造業・小売業・飲食業・サービス業への派遣を実施した。今年度は、沼津市主催のビジネスプランコンテスト事業ともタイアップし、起業家の育成に結び付ける。	
2005	三島	三島地区職業体験活動推進事業「ゆめワーク三島」		中学校		子供が生きる力と地域の教育力向上を図るため、学校及び各協力団体、協力機関が相互に連携し、職業体験活動を通じて、地域の子供を地域の大人が育てることをテーマに掲げ、中学2年生を対象に16年度から実施している。今年度で6回目。	
2009	磐田			高校	大学	公立高校及び私学大学インターンシップ職場体験事業への協力(協力企業紹介)	
2016	袋井				大学	地元の静岡理工科大学の実施するインターンシップ事業に協力している。	
2101	岐阜			中学校		中学生の職場体験の取りまとめ	
2115	羽島	キャリア教育プロジェクト	小学校	中学校	高校	・職場体験・インターンシップの実施	
2202	岡崎	インターンシップ生の受け入れ			高校	大学	高校生5日間、大学生10日間夏期26人、冬期7人
		クラフトマン21推進事業			高校		ものづくり企業での実習体験、工業高校との連携
2204	半田	中学生職場体験の充実		中学校		中学生の職場体験に対して受入れ企業より、「学校のねらい、求めるものがよくわからない」というご意見をよく聞くため、職場体験を実施する意義やねらいを明確に設定しておくことが重要であると考え、3つのねらいを定めて受入れ企業の参考にしていただいた。職場体験を充実させるために、受入れ企業にアンケートを実施し、アンケート結果を基に、教育委員会並びに中学校の教頭・担当教諭と定期的な意見交換の場を持っている。	
2206	瀬戸	瀬戸キャリア教育推進協議会	小学校	中学校	高校	職場体験・インターンシップのコーディネート	
2208	豊川	高校生インターンシップ受け入れ事業			高校	会員事業所の中で高校生のインターンシップ受け入れが可能な事業所を登録し、高等学校に対し情報提供を行っている。	
2210	豊田	豊田市キャリア教育支援事業		中学校		中学生2年生を対象にした職場体験事業。5日間程度の体験事業を通して社会の成り立ちについての理解や働くことへの意義、責任感、挨拶、言葉づかいの大切さなど、社会性を身につけてもらうことを目的に実施している。	
2211	碧南	平成20年度工業高校実践教育導入事業「愛知版クラフトマン21推進事業			高校	愛知県立鶴城丘・碧南工業・岡崎工業高等学校と西尾・岡崎・碧南商工会議所が連携して全国一の自動車産業や機械産業のサポート・インダストリーや食品産業等の郷土特有の優れた地域産業の技を継承し、地域の発展に貢献してきた中堅技術者の後継者となる人材(クラフトマン)の育成を図るとともに、地域社会と教育界とのパートナーシップの強化により、実践的な教育力の強化を図り、優秀な技術・技能者を輩出することによって、産業界の発展につながることをめざして事業を実施。(事業期間は、平成19年度から平成21年度の3年間)①クラフトマン 3年生25名 協力事業所6事業所②クラフトマンJr 2年生24名 協力事業所9事業所③インターンシップ 2年生235名 協力事業所83事業所④企業技術者等による学校での実践指導⑤教員の高度技術習得⑥熟練技能者等による講話⑦地域小学生向けものづくり教室等	
2213	西尾	インターンシップ事業			高校	8月の夏休み期間を利用し、高校の総合学科専門系列の2年生を対象に、4日間のインターンシップを行う。	
		工業高校等実践教育導入事業			高校	2年生をクラフトマンJr、3年生をクラフトマンとし、地域産業を愛する後継者人材の育成を図る。具体的には、生徒の企業実習、企業技術者等による学校での実戦的授業、教員の企業等研修を行う。	
2215	春日井				大学	インターンシップの受入(2週間)	
2222	大府	産学官連携推進事業			大学	受入企業調査で回答のあった10社を当所産学官連携協力大学13校に紹介し、大学3年生の希望者に対し、夏休みを利用した就業体験を推進。	
2302	津	インターンシップ受入事業所確保支援事業			高校	夏休み期間中3日間のインターンシップ受入事業所の確保・支援(対象:高校2年生)。また、インターンシップ事前研修としてビジネスマナー講座と地元経営者の講演会の開催。	
2304	松阪	インターンシップ受入事業所確保支援事業			高校	地元高校のインターンシップ事業に対し、受入事業所確保について支援。(事業所募集、説明会の開催、高校への講師派遣等)	
2306	桑名	桑名商工会議所産業現場実習			高校	桑名商工会議所が地域唯一の専門学校である桑名工業高校と地域企業のパイプ役として、受入先企業の開拓を行い、2年生全員の受入を行っている。	
2307	上野	インターンシップ受け入れ事業所確保支援事業			高校	高等学校に対するインターンシップ先の事業所の紹介	

2308	亀山				高校	地元高等学校生徒の勤労観、職業観の向上により「生きる力」を育成する。職場での体験を通して、礼儀作法の習得や社会性を育成する。地域に根ざした地域社会を担う人材を育成する。	
2309	尾鷲	若者と中小企業とのネットワーク構築事業			高校	インターンシップの実施。地元高校の2年生を、市内及び近隣の11企業に受け入れてもらう。期間は2日間。(平成20年度事業)	
2310	名張	若者と中小企業とのネットワーク構築事業			高校	県連より再委託を受けて、中小企業の若者の人材確保を促進するため、高校生のインターンシップ、コーディネーター派遣等の事業に取り組んだ。	
2313	熊野	インターンシップ受入事業所確保支援事業			高校	・受入事業所の発掘 ・高等学校との打合せ ・高校生の職場体験	
2406	小浜				高校	例年、地元高校の商業科・情報処理科の生徒2名を2日間受け入れている。商工会議所が果たす役割を教えると共に、実際に業務に携わってもらい、「働く」ことを肌で感じてもらう。	
2407	鯖江	職場体験			中学校	中学生の職場体験受け入れ	
2501	大津				大学	大学生を対象にしたインターンシップの受入を実施。	
2503	彦根	若者と中小企業とのネットワーク構築事業(課題解決型インターンシップ)			大学	市内の大学を中心として、学生を対象に、中小企業が抱える課題に対して、学生による課題を解決する提案をさせる。	
2506	草津	インターンシップ実習生等受入れ			大学	草津市内に立命館大学びわこキャンパスがあり、産学官連携で協力・支援している。草津市の宿場まつりや当所の草津納涼まつりでは、部活やサークル活動の出演協力もしてもらっている。学生の夏休み期間、就職活動前の3回生を約2週間、実習生として受入れ、商工会議所の役割や事業、業務を学んでもらっている。	
2506	草津	職場体験学習(中学生受入れ)			中学校	草津市内の公立中学校の生徒2名を5日間受入れ、職員同様の勤務時間従事し、社会人の経験をしてもらう。業務内容は、中学生のできる範囲内。	
2507	守山				高校	市内私立高校2年生を毎年1週間2名受け入れ、事務所内で当初職員と同じ業務をしてもらい、職場体験をさせる	
2607	亀岡	京都学園大学「インターンシップ実習」			大学	当所にて京都学園大学の学生1～2名を、2～3週間程度受け入れている。	
2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校	(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高生、教員、保護者)・職場見学、職場体験・インターンシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催	
2702	堺				大学	インターンシップを実施し、大学生の受け入れを行った。	
2703	東大阪	インターンシップ支援事業			高校	大学 受入希望する企業の概要等を記載した冊子を近隣の大学・高等専門学校約20校に配布し、インターンシップを希望する学生とのマッチングの促進を図り、ものづくり企業で職場体験を積むことで、将来の産業界を支える人材育成について、大学等と地域企業との連携を深める。	
2704	岸和田				中学校	大学 インターンシップ受入(当所としては毎年近畿職業能力開発大学の学生2名受入)とインターンシップ受入企業の紹介。中学生職場体験受入企業の紹介。	
2708	茨木					大学 市内大学の学生をインターンシップとして受け入れし、当会議所の事業を体験していただく。特に夏のイベント(祭り)関係の事業に従事。	
						大学 市内大学の学生を当会議所会員企業にインターンシップとして受け入れし、業務を体験していただく。	
2709	吹田		小学校	中学校		市教育委員会やNPO団体の依頼により、教員、生徒の民間企業体験研修(インターンシップ)の受け入れ先を斡旋している。	
2711	豊中	インターンシップ実習生の受入れ				大学 大学3回生のインターンシップ実習生及び2回生のプレ・インターンシップ実習生受入れプログラム	
		豊中チャレンジプラン地域体験学習CUL(カル)			中学校	豊中市立各中学校2年生が地域での職場体験学習に取組むプログラム	
2717	高石	職場体験			中学校	市内事業所において中学生を対象に職場体験をおこない社会への対応経験をさせる	
2719	和泉				大学	商工会議所での職場体験、地場産品販路開拓促進	
2817	加西	インターンシップ(就業体験)事業の学生受け入れ			大学	夏季休暇を活用して、大学生(短大含む)を10日間程度、職場体験実習を行う。	
2901	奈良	奈良県インターンシップ			大学	8月～9月にかけて概ね10日間の就業体験を行う。	
3005	御坊				大学	インターンシップ	
3102	米子	インターンシップ支援助成金			大学	インターンシップ制度の普及を支援するため、インターンシップ支援助成金制度(平成19年度～平成21年度の3年間)を設け、受入れ企業の負担を軽減する。	
3201	松江	インターンシップ受入開拓事業			大学	鳥根県労働局が(社)鳥根県経営者協会に委託しているインターンシップ事業の受入を積極的に行なっている。毎年8月に5日間程度の日程で地元大学生を中心に3名程度受入をし、学生が商店街でのヒアリング調査を行なう中で掴んだ賑わい再生に向けた意見を地元商店街に提供している。	
3206	大田	大田市中学校職場体験事業			中学校	市内中学校の2、3年生を対象に、市内事業所(約180社)で職場体験を実施し、職業や仕事に対する意識を深めさせる。	
3306	児島				中学校	高校 受入企業の開拓、斡旋の支援。	
3401	広島	工業高校等実践教育導入事業			高校	広島県商工会議所連合会が経済産業省から委託を受け、広島県教育委員会(文部科学省から受託)と連携し、県内工業高校5校の機械・電気系学科の2・3年生(就職希望者470人)を対象に、ものづくり企業での10日間のインターンシップを実施する。	
3402	尾道				中学校	高校	大学 学生、生徒の職場体験の受入れ。

3404	福山	工業高校等実践教育導入事業			高校	広島商工会議所連合会と文部科学省との共同事業として、広島市・呉市・福山市の工業高校の生徒のインターンシップ、熟練技能指導者による学校での指導、教員の企業での高度技術習得を実施。
3405	三原				中学校	夏休みの期間を利用し、市内中学生の職場体験学習を実施
3406	府中	府中市キャリア・スタート・ウィーク			中学校	府中市教育委員会と協力して、受入企業を募集。また、受入企業を対象とした説明会を開催。平成17年度から毎年実施している。
3407	三次				高校	地元高校の職場体験学習に伴い、受入事業所を選定し実施高校へ斡旋紹介する。
3410	竹原	キャリア・スタート・ウィーク			中学校	中学2年生の生徒を5日間、市内約140事業所で受入を行なう。
3501	下関				大学	地元大学2校より、職場体験を受け入れている。会議所の事業について理解を深めるとともに、市場調査・観光調査等の実践を主なカリキュラムとしている。
3502	宇部					学校からの要請を受け、当所での受入れのほか、受入可能企業の紹介を行っている。
3504	防府				中学校 高校	市内中学校・高等学校生徒を対象に、職業観の養成と、地場企業への理解を深めてもらう目的から、インターンシップ事業を実施。実施主体は各学校にて行うが、地場企業への受入依頼について当所より会員事業所へ行っている。
3505	徳山	周南市キャリア・スタート・ウィーク(参画)			中学校	中学校における5日間の職場体験。
		職場体験・インターンシップ等体験学習(参画)			高校	社会人、職業人として自立するための意欲・態度や能力を育成する。
3508	岩国				高校	就労体験等
3705	多度津	職場体験学習			中学校	中学2年生を対象に進路学習の一環として、生徒自らが正しい就職感を養い、将来の生き方を真剣に考える機会の場合として、実施している。当所では、企業の受け入れを会報により協力依頼をしている。
3706	善通寺				大学	会議所自身が学生を2週間お預かりして、実社会の職場経験をしてもらう内容
4002	久留米				中学校 大学	インターンシップ事業として、H20年度は市内の中学生2名と短期大学生4名をそれぞれ3日間受け入れた。
4003	北九州	インターンシップ			大学	就職活動を控えた大学3年生を対象に、就業体験の場を提供している。
4004	大牟田				高校	市内高校よりインターンシップの申し入れあり、受け入れる。(平成19年度:1名(8/22~23) 平成20年度:2名(8/4~5))
4006	直方	直方市14才チャレンジウィーク事業			中学校	実施主体:直方市14才チャレンジウィーク実行委員会(委員長 直方商工会議所 会頭)、事務局:直方市教育委員会、対象:直方市内4中学校2年生469名、期間:6月8日~12日(5日間)、受入企業:直方市内の企業200社
4017	宮若	宮田中学校生徒の職場体験 鞍手竜徳高校生徒の職場体験学習			中学校 高校	各事業所に職場体験のお願い文書を送り、受け入れ同意書を中学校が受けとる。 各事業所に案内文を送り、希望の事業所があれば、先生が個別に相談される。
4201	長崎				大学	夏季インターンシップの受入
4205	大村				大学	県内2大学程度から学生を受け入れ、職員と一緒に約1週間、業務を行わせる。
4301	熊本				高校 大学	県の経営者協会等を通して年間2,3回程度受入を行っている。
4302	八代	職場体験学習			高校	週5日間商工会議所職場内で、掃除や軽度の事務一般業務の実習(パソコンを使つての調査票の集計等)
4308	山鹿	インターンシップ(就業体験実習)事業			高校	5日程度ではあるが、商工会議所の業務を知ってもらい、社会人としてのマナーや能力の向上を図り勤労観・職業観を育成する。
4404	日田				高校	ジョブカフェ事業での地元高校生に対する職場体験や社会人の講師による講話等の実施
4405	佐伯	キャリア教育連携推進事業に係る佐伯市キャリア教育推進協議会	小学校	中学校		小学生、中学生に事業所等で職場体験等を実施し、就業の必要性、社会教育を体験的に実践させた内容を会議の席で発表、協議する会に参画。
4407	津久見				中学校 高校	高校生の部および中学生の部にわけ、2~3日間の職場体験を実施。
4502	宮崎				高校	宮崎商業高校の生徒を受け入れ、職場体験を行っている
4609	指宿				高校	職場体験学習で商業高校の生徒を3日間受け入れた。
4609	指宿	指宿市キャリア・スタート・ウィーク			中学校	子どもたちの勤労観や、職業観を育てるために中学校において5日間以上の職場体験を行う学習活動に受け入れ事業所を斡旋
4701	那覇				高校	職場体験

<職場見学> 16商工会議所 16事業

CODE	会議所名	事業名	対象			事業内容
302	釜石				高校	就職希望者を対象に管内の企業を訪問し、事業内容等を見学する機会を設けた。
504	横手				高校	高校3年生の職業意識の確立を目的とし、生徒自ら受入企業に出向き企業側から会社説明及び会社見学を行う。
603	鶴岡	管内高等学校の地元企業視察への支援			高校	地元企業への視察経費への助成(貸切バス利用経費への助成金)
903	氷見	職場見学会			高校	夏休み中に高校3年生を対象に職場見学会を実施。
907	滑川	なめりかわ新発見「夏休み子供企業見学会」	小学校			将来の滑川(地元)を背負う子供たち(小学生5・6年対象)に、市内の先進企業の生産技術やそこで働く人々の姿を見てもらうことで、郷土度に対する誇りを培う。
908	黒部	企業見学会	小学校	中学校	高校 大学	将来を担う子供達に身近な企業を知り、地元を理解し興味を持たせるため、実際に「ものづくり」の現場を見て、聞いて、体験してもらい、事業活動やものづくりの面白さ大切さを認識してもらう。将来的には地元企業への雇用創出へと繋げる。
1108	須坂	須坂市企業見学事業	小学校			郷土企業のものづくり、大人の働く姿を見て、郷土就職感の早期醸成を図る。対象:市内11校 小学5年生約550名、期間:9月~10月、見学先:商工会議所及び市内企業11社、交通手段:貸切バス18台(1校1~2台)
1209	ひたちなか				高校 大学	学生、先生による企業訪問。企業による学校訪問と懇談会。

1701	東京	各支部における教育支援事業	小学校	中学校	高校	地域の小・中・高校生等を対象とし、職場見学の受入、職業体験・インターンシップの受入、社会人講師の派遣、スポーツ等の指導員の派遣等が可能な企業に登録を募り、学校・教育委員会からの要請に応じ、連絡・調整等を行う(例:新宿総合学習サポート事業、荒川区教育支援ネットワーク事業、すみだ教育支援ネットワーク等)。子どもの理科離れを防ぐため、ロボコン、モノ作り教室、東大見学等を実施(例:荒川区自然科学フォーラム等)。企業支援事業として職場体験の受入企業の募集協力、セミナー等を各支部にて実施。
1804	小田原箱根	雇用問題懇談会			高校	当所内で組織する西湘異業種研究会において、地域高校の校長、進路担当者対象とした雇用問題懇談会の開催。また、高校側の依頼によりバスをチャーターして各地元企業を生徒らが訪問するツアーを実施。
2115	羽島	キャリア教育プロジェクト	小学校	中学校	高校	職場見学
2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校	(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高生、教員、保護者)・職場見学、職場体験・インターンシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催
3301	岡山	100社訪問キャラバン隊			大学	大学・研究機関の研究者を企業現場へ訪問
3514	柳井	産業観光事業			高校	商工高校の生徒(2年生)を対象に、地元企業(製造業等)を1日で3社訪問し、実際の仕事を見ていただく事で、将来自分が進む方向を決める判断材料の一つにしていた。
3805	新居浜	高等学校就職担当教諭企業見学会			高校	就職担当教諭に実際の企業を見学、企業側との意見交換を行い、雇用のミスマッチの解消をはかる。
3906	土佐清水				高校	地元食品加工施設の見学

<商い体験> 30商工会議所 30事業						
CODE	会議所名	事業名	対 象			事業内容
103	札幌	ミニさっぽろ2008	小学校			こどものまち「ミニさっぽろ」という、仮想の街で職業体験や生活体験を通して子どもたちに働くことの楽しさや苦勞を体験してもらい、世の中の仕組みなどを学んでもらう。
109	岩見沢	キッズ・ベンチャー	小学校	中学校		・キッズ・ベンチャー事業に参加する小学生・中学生の募集及び決定 ・キッズ・ベンチャー事業の啓発、広報及び情報の提供 ・参加する小学生・中学生に対して、キッズ・ベンチャー事業の内容説明及び経済の仕組みを学んでもらうための勉強会 ・看板やPOP作成を行う準備会の開催 ・販売の準備・決算会の開催
304	宮古	チャレンジショップ			高校	市内の商業高校の生徒が、3日間空き店舗を利用して商いの体験を実施している。
702	郡山	子供株式会社	小学校			小学6年生を対象。5人1組で会社を作り、事業計画立案から販売実施まで、子供たち自身の判断で取り組ませることで、自ら考え、決断する体験を提供する
703	会津若松	ジュニアエコノミーカレッジ	小学校			小学校5・6年生を対象として、1社5名で模擬株式会社を設立し、商品開発、販売、決算などの商売の一連の流れを体験していきます。学校などのバザーと違い、出資金を集めたり、自分たちで仕入を行う、利益を役員報酬として得ることが出来るなど、私たちが実社会で行っていることを体験する。
709	須賀川	岩農フレッシュショップすかがわまちなか店事業			高校	農業高校の生徒が生産した農産物を中心市街地の公共施設で販売実習。当所のまちづくり事業の一環として実施。同事業に連携して市内の情報高校がホームページを作成し協力体制をとっている。
802	上越	チャレンジショップ Rikka			高校	地元高校生が、商品開発から価格設定、販売まで担い、中心市街地の空き店舗を利用し、7日間開催され、毎年市民より好評を得ている。
901	富山	学店(若手後継者育成事業)			高校	大学 学生・生徒に商品開発から販売まで自主的に実体験させる。
903	氷見	チャレンジショップ			高校	高校生が市内商店(事業所)より商品を仕入れ、自分たちのお店を開いて、市民に即売する。
1108	須坂	ジュニア・エコノミー・カレッジすざか	小学校			チーム(4~5名)毎に仮想株式会社を設立し、ドリームプランを作成した上で資本金を集めます。それと青年部からの借入金の計2万円をもとに商品開発、製作、仕入れを行います。えびす講で販売実習をし、決算報告、税金納付(寄付)などビジネスの仕組みを学習します。最後にドリームプラン、販売、決算などを総合評価し表彰します。
1113	中野	小学生商い体験	小学校			児童が作成した商品等を商店街の空き店舗で販売する。
1303	足利	学生チャレンジショップ			高校	大学 市内の高校2校(工業、商業関係)と専門学校(デザイン関係)と連携し、空き店舗を活用したチャレンジショップを運営。内容は、各学校のアイデアに一任している。期間は、4月末~5月中旬、本年度は秋にも実施予定。
1409	渋川	ジュニア起業塾	小学校	中学校		起業や商売などの経済活動を子ども達が体験学習することにより、お金の管理、使い方や創意思考の育成、社会への対応力を養うことをねらいとする事業
1515	狭山	さやまビズ・キッズ	小学校	中学校		小学生は小学5年生を対象とし、市内2校で過去6年間実施(継続中)。中学生は市内10中学に公募、参加20名程度。小学生は学年で6名程度のグループを作り、起業し、役職を決め、事前学習を通じ商売の基本を学び、自社のコンセプト、理念等を作成、仕入れ商品、販売額を社内会議で決定し、1校は大学の学園祭で、1校は市内商店街駐車場の特設店舗で商品を一般消費者に販売する。中学生は同様の内容でレベルを上げ、よりリアルな起業、販売活動を実施する。販売によって得た利益は社会福祉等に寄付するとともに、社員の給与として配分している
1702	八王子	キッズ・ショップ	小学校			小学6年生を6名1グループとして、仮想会社を設立。児童が役割分担して、店名、販売品目、販売計画などの事業計画を作成する。八王子商工会議所(TMO)から融資(3万円)を受けるために、商店会役員に対してそれぞれの事業計画をプレゼンテーションを行う。審査を経て、借入れた資金で仕入れ等を行い、中心市街地において開店し、販売する。事業終了後、資金は返済する。

2002	浜松	チャレンジショップ			高校	創業予定者のための模擬店であるが、市内の高校生(養護学校含む)が、大人の創業予定者に伍して店を開き、手作り商品などを陳列して実際に市民に販売する。
2016	袋井	袋商ショップ			高校	高等学校内に株式会社袋商ショップを設立し、生徒が主体となって仕入れ・営業・販売・経理等の体験的な実習により商業の学習に一層の意欲・関心を高めている。地域の企業・商店、保護者・住民との連携を図り、地域活性化に貢献しており、当商工会議所も後援して企画企業や広報PRの協力をしている。
2111	恵那	ジュニアエコノミーカレッジ	小学校			ジュニアエコノミーカレッジとは、ビジネスの体験を通して、「自分たちで行う楽しさ」「買ってもらう楽しさ」「仲間が増える楽しさ」の3つの楽しさを感じてもらうことを目指した体験学習です。5人で1チームを作り、資本金と借入金の2万円を元手に模擬株式会社を設立し、その中で、実際の企業と同じように仕入れや販売計画といったビジネスプランを立て、販売実習、利益の分配、会社の解散を体験し、国語や算数で学んでいることの意味や、社会・株式・税金・借入の金利の仕組みなどを学んで頂く事業です。
2202	岡崎	ジュニア・エコノミー・カレッジ	小学校			本事業は、起業教育を通して、地域の子どもの発想力・創造力・判断力・コミュニケーション力などを育み、子ども達が商売体験を通しての達成感やお金の大切さを実感することより、商売の基本や面白さ・難しさを体得して、創業意欲と起業家精神を養い、将来の岡崎経済を担う人材を育成することを目的としています。主な内容は、岡崎市内小学校の6年生の12チーム(1チーム5名)ごとに仮想株式会社を設立し、ドリームプラン(商品プラン・店づくりプラン)を作成し、家族などに説明をした上で資本金1万円(千円10口)を集め、さらに必要に応じて岡崎商工会議所青年部からの借入金1万円の合計最大2万円をもとに仕入れと商品試作・製作を行ない、一般市民の方に販売します。また帳簿のつけ方やビジネスマナーを学ぶとともに、決算報告、税金納付(寄付にて代用)を行い、社会の仕組みも学びます。
2302	津	ジュニアエコノミーカレッジ IN 津	小学校			チーム(4~5名)ごとに仮想株式会社を設立し、事業計画書を作成した上で資本金を集め、チームで商品開発、製作、仕入をします。帳簿のつけ方やビジネスマナーを学び、その後、販売実践、決算報告をします。
2507	守山			中学校		年末に開催される「もりやまいち」の日に、市内4中学校の2年生約100人に焼きそば、たこ焼き等の出店を出させ、仕入れから、製造・販売、決算を学生にさせ、学校毎に売上を競わせる体験学習。売り上げはすべて社会福祉に寄贈。
2701	大阪	小学生の出店体験事業「キッズ・マーケット」	小学校			「商売のマチ・大阪」にふさわしい小学生対象の起業家精神涵養事業としてスタート。商店街の活性化、ならびに学校と地域との連携・交流促進を目指す。平成11年度よりスタートし、平成20年度までに、のべ103校、7,000人弱の児童が参加。お祭りなど地域の催事と連携するなど地元での活動として定着している学校も多く、実施校独自で運営している。商工会議所の役割は、支部を通して商店街との連携を図ることと、無償提供する販売商品の確保等。
2813	高砂	アントレプレナー授業			高校	地元商業高校の生徒による商品開発・販売計画・税務・販売実習までの一貫した創業体験授業。
3504	防府	こどもチャレンジショップ	小学校			防府市・山口市・阿東町の2市1町で年1回開催。事業計画から製造、販売まで体験するカリキュラムとなっている。開催場所は年度ごとによって異なる。
3702	丸亀	High School 万華鏡			高校	普段商店街に馴染みのない高校生自らが、企画、立案、実行するイベントとして開催。商店街への集客を図り、賑わい創出に努めると同時に、メンバーの社会人としてのキャリア形成に繋げている。
4012	苅田	キッズマーケット	小学校			商業体験販売学習
4202	佐世保		小学校		高校	商い体験
4307	玉名	ジュニア・エコノミー・カレッジinたまな	小学校			小学生5,6年生を対象に、ありきたりな販売体験ではなく、模擬会社設立から販売実践、決算まで行うことにより、自分で考える力を学ぶと同時に起業家精神を養い、将来地域に貢献する人物を育てる。
4502	宮崎	いっちゃんが楠並木朝市			高校 大学	毎月、第1・第3日曜日に開催している「いっちゃんが宮崎楠並木朝市」に宮崎農業高校、宮崎大学の学生が店舗を出店して商い体験を行っている
4609	指宿				高校	商業高校の生徒を朝市で販売業務を体験させた。

<教育機関への社会人講師の派遣> 41商工会議所 44事業

CODE	会議所名	事業名	対象	事業内容
106	釧路	釧路高専地域振興協会の		1. 釧路高専を活用した企業人材育成 2. 共同研究 3. 会員企業社員による専攻科学生に対する特別ゼミナール 4. インターンシップ受け入れ 5. 学生の研究発表会の開催等。
107	帯広	出前セミナー	高校	学校側の希望に応じて、地元講師を派遣する。(専門学校含む)
129	美幌		高校	講師派遣
303	一関	地域に生きる	高校	県立大東高校1~2年生を対象に、地域を考えることによって、職業選択や進路学習及び学門選択の機会とする。当商工会議所からは、2日間3名の職員を派遣して、「商工業発展への取組みについて」出前講座を行った。
605	新庄	キャリア教育推進事業	高校	社会人講師招聘事業
1504	さいたま	さいたま市技術伝承等企業育成事業	高校	さいたま市より事業委託を受け実施。県立浦和工業高校と連携して取り組んでいる。メニューはインターンシップと企業技術者による実践的指導。
1107	下諏訪	ものづくり(生涯学習授業)	小学校	下諏訪南小学校の5年3組の生徒を対象に、21年8月に向けて実施。生徒の希望によりラーメン(種、スープ)を作成する。地元ラーメン店から講師を派遣する。
1118	佐久	企業によるアイデア創出の教育支援		長野高専の3年生を対象に、企業が講師として出向き、アイデア創出のポイントや企業の概要や現況、固有技術の紹介を通じて相互補完事業として人材養成や人材確保などにつなげる。

1204	日立	茨城県地域産業担い手育成事業			高校	大学	茨城県の東北地域における産学官(工業高校等、電気機械関連産業、商工会議所、大学)の連携を強化し、ものづくりを支える専門的職業人の育成プログラムを開発し検証する事業。生徒の企業実習、企業技術者等の学校での実践的指導、教員の企業等での高度技術修得、専門高校等と企業・大学との共同研究などが主な事業。
1302	宇都宮	若年者地域連携事業			高校	大学	県内学校(高校から大学まで)が実施する職業意識啓発セミナーやビジネスマナーセミナー等に社会人講師等を派遣する。
1502	川口	工業高校等実践教育導入事業			高校		生徒と教員のインターンシップ、企業技術者による特別授業など。
1503	熊谷	工業高校等実践教育導入事業			高校		インターンシップ・デュアルシステムの受入企業の発掘企業見学や保護者を交えての座談会を開催。また、教員の企業研修や企業技術者による特別授業の実施等。
1504	さいたま	工業高校等実践教育導入事業			高校		平成19年度からの継続事業。(3年間)経済産業省、文部科学省が連携し実施。当所は県立大宮工業高校との連携により実施。メニューはインターンシップ・デュアルシステム・企業技術者による実践的指導・教員の企業研修・課外活動支援等
1515	狭山	明治大学政治経済学部地域研究総合講座への講師派遣				大学	明治大学政治経済学部地域研究総合講座への講師派遣のほか、近隣の大学二重紀ビス・キッズの関係での説明を含む講座の講師派遣を実施している。このほか会議所の主宰する地域中小企業の後継者を中心とする「若手経営者研究会」へは、明治大学政治経済学部、西武文理大学の教授・学生が参画し、企業との交流を実践している。
		クラフトマン21(狭山地域)～工業高校等実践教育導入事業			高校		埼玉県が事業を受け、県内4地域～川口・埼玉・熊谷・狭山が現場として事業実施。地元の工業高校と会議所が連携をとり事業実施する。狭山の場合、インターンシップ(2年生希望者:20名程度)・工場見学(1年生全員)・出前講座(企業人が工業高校で授業実施:年間10コマほど)・ロボスプリント(高校と中学を結びライントレースロボットの作成)等を実践している
1701	東京	各支部における教育支援事業	小学校	中学校	高校		地域の小・中・高校生等を対象とし、職場見学の受入、職業体験・インターンシップの受入、社会人講師の派遣、スポーツ等の指導員の派遣等が可能な企業に登録を募り、学校・教育委員会からの要請に応じ、連絡・調整等を行う(例:新宿総合学習サポート事業、荒川区教育支援ネットワーク事業、すみだ教育支援ネットワーク等)。子どもの理科離れを防ぐため、ロボコン、モノ作り教室、東大見学等を実施(例:荒川区自然科学フォーラム等)。企業支援事業として職場体験の受入企業の募集協力、セミナー等を各支部にて実施。
1801	横浜	企業人講師の派遣仲介事業				大学	関東学院大学経済学部の依頼に基づき、生きたマーケティング理論に関する講座に対して、当所会員企業の経営者等を講師として紹介。
1802	横須賀	中学生“自分再発見”プロジェクト		中学校			中学2年生の総合学習の時間を体系化し、社会人との交流により、職業観・勤労観に対する興味や今後の学習への意欲・関心事につながる教育カリキュラムを、商工会議所が主体となり、市・市教育委員会とともに作成し、体験させるプロジェクト。
1901	甲府	講師派遣				大学	包括協定を結んでいる山梨大学、山梨県立大学へ経営者等の企業人を講師として派遣し、「企業が求める人材」等についての講義をしている。
2012	島田	人財ネットワーク	小学校	中学校	高校		当所会員事業所の方々に「地域の産業」「職業観」「地域の文化・歴史」等の話ができる「人財」を講師登録し、小・中学校の社会科や総合学習等にこれらの話を通して、子供たちに「島田」を伝え、この地域を愛する次代を担う「島田人(しまだびと)」を育成する。
2015	藤枝	人づくり委員会		中学校			商工会議所青年部という特色を活かした地域の次世代人材育成への協力・貢献を活発に行い市内中学生への職業講話を実施。
2115	羽島	キャリア教育プロジェクト	小学校	中学校	高校		社会人講師授業の実施
2206	瀬戸	瀬戸キャリア教育推進協議会	小学校	中学校	高校		地域の事業所の経営者等の企業人が講師となる出前授業の実施
2211	碧南	平成20年度工業高校実践教育導入事業「愛知版クラフトマン21推進事業			高校		愛知県立鶴城丘・碧南工業・岡崎工業高等学校と西尾・岡崎・碧南商工会議所が連携して全国一の自動車産業や機械産業のサポートインダストリーや食品産業等の郷土特有の優れた地域産業の技を継承し、地域の発展に貢献してきた中堅技術者の後継者となる人材(クラフトマン)の育成を図るとともに、地域社会と教育界とのパートナーシップの強化により、実践的な教育力の強化を図り、優秀な技術・技能者を輩出することによって、産業界の発展につながることをめざして事業を実施。(事業期間は、平成19年度から平成21年度の3年間)①クラフトマン 3年生25名 協力事業所6事業所②クラフトマンJr 2年生24名 協力事業所9事業所③インターンシップ 2年生235名 協力事業所83事業所④企業技術者等による学校での実践指導⑤教員の高度技術習得⑥熟練技能者等による講話⑦地域小学生向けものづくり教室等
2213	西尾	工業高校等実践教育導入事業			高校		2年生をクラフトマンJr、3年生をクラフトマンとし、地域産業を愛する後継者人材の育成を図る。具体的には、生徒の企業実習、企業技術者等による学校での実践的授業、教員の企業等研修を行う。
		職業講話			高校		総合学科2年生を対象に、地元自動車部品製造企業の代表者が職業講話を行う。
2215	春日井	出会いと体験道場 講話会		中学校			青年部メンバーから地元中学生(2年生)を対象に、経営者・社会人としての経験談や心構えなどを講義する。
2301	四日市	朝明高校地域とともに教育を考える会			高校		1. 学生に対して、就職に関する諸知識、採用・面接に対する留意点について外部講師を派遣し指導 2. 校長、教頭、進路指導教諭等に産業界の現状や採用に関する情報を懇談会形式にて提供
2302	津	インターンシップ受入事業所確保支援事業			高校		夏休み期間中3日間のインターンシップ受入事業所の確保・支援(対象:高校2年生)。また、インターンシップ事前研修としてビジネスマナー講座と地元経営者の講演会の開催。
2304	松阪	インターンシップ受入事業所確保支援事業			高校		地元高校のインターンシップ事業に対し、受入事業所確保について支援。(事業所募集、説明会の開催、高校への講師派遣等)
2504	近江八幡	アントレプレナーシップ講話会			高校		企業家精神がテーマであるが、工業高校の学生に求めるもの大切なことなどを約50分のもち時間で講義する。対象は2年生7クラス(約220名)で、今年度で3年目。
2601	京都	小学生への環境学習事業	小学校				京都企業の環境技術や環境の取り組みを小学生に紹介。(平成14～20年度で、のべ227校13,650名の児童に対して実施)

2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校	(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高生、教員、保護者)・職場見学・職場体験・インターンシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催
		経済産業省「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」	小学校			・地元企業の社員やOBを「特別講師」として、小学5、6年生の理科の授業に派遣。児童が学ぶ理科と実社会とを結びつけた「生きた理科実験授業」を実施し、小学生の理科への関心を高め、理科離れを防ぎ将来のモノづくり人材の育成に寄与する。・平成20年度、経済産業省からの委託事業として実施。・平成20年度は、大阪市立の小学校67校・9,278名の児童に対し、21企業・3団体の協力を得て実施。
3103	倉吉	中部わかもの育成支援活動			高校	市内高等学校が実施する就職ガイダンスに地元社会人講師を派遣し、その費用を負担する。
3201	松江	高校生のための就職ゼミナール			高校	定住化対策の一環として地元就職を支援するため、県立松江工業高校の2年生の6科の生徒へ地元企業の主任クラスの方と工業高校OBを派遣し、職業観・業界の現状を講義して頂いている。
3306	児島			中学校	高校	マナー研修など、事前研修への講師の斡旋。
3401	広島	工業高校等実践教育導入事業			高校	広島県商工会議所連合会が経済産業省から委託を受け、広島県教育委員会(文部科学省から受託)と連携し、県内工業高校5校の機械・電気系学科の1・2年生を対象に、企業の熟練技能者等が実習授業(旋盤、電気工事等)を教員とともに指導する。
3402	尾道				高校	市内の進学高校の一年生を対象に“産業社会と人間”をテーマに弁護士、企業経営者等社会人講師を、多業種に亘る講師を学校に派遣する。
3404	福山	工業高校等実践教育導入事業			高校	広島商工会議所連合会と文部科学省との共同事業として、広島市・呉市・福山市の工業高校の生徒のインターンシップ、熟練技能指導者による学校での指導、教員の企業での高度技術習得を実施。
3802	宇和島	宇和島学		中学校		総合的な学習の時間に「宇和島学」と銘打って、宇和島の祭りの変遷など講義
3805	新居浜	インターンシップ派遣前マナー講習		中学校	高校	インターンシップ実施前に専門の講師を学校に派遣し、講習を行う。
4202	佐世保		小学校			商い体験事業を実施する学校に対し、事前研修(「流通とは」)、事後研修(「商い体験」の反省)をおこなう。
4404	日田				高校	ジョブカフェ事業での地元高校生に対する職場体験や社会人の講師による講話等の実施

<民間企業等での教員の受入れ> 14商工会議所 14事業

CODE	会議所名	事業名	対象			事業内容
1204	日立	茨城県地域産業担い手育成事業			高校	茨城県の県北地域における産学官(工業高校等、電気機械関連産業、商工会議所、大学)の連携を強化し、ものづくりを支える専門的職業人の育成プログラムを開発し検証する事業、生徒の企業実習、企業技術者等の学校での実践的指導、教員の企業等での高度技術修得、専門高校等と企業・大学との共同研究などが主な事業。
1502	川口	工業高校等実践教育導入事業			高校	生徒と教員のインターンシップ、企業技術者による特別授業など。
1503	熊谷	工業高校等実践教育導入事業			高校	インターンシップ・デュアルシステムの受入企業の発掘企業見学や保護者を交えての座談会を開催。また、教員の企業研修や企業技術者による特別授業の実施等。
1504	さいたま	工業高校等実践教育導入事業			高校	平成19年度からの継続事業。(3年間)経済産業省、文部科学省が連携し実施。当所は県立大宮工業高校との連携により実施。メニューはインターンシップ・デュアルシステム・企業技術者による実践的指導・教員の企業研修・課外活動支援等
1701	東京	民間企業派遣研修(10年経験者必修)受入	小学校	中学校	高校	都が教員の資質向上、学校教育の改善・充実に資するため、教員を民間企業に派遣し、企業活動を体験させる研修の受入れ企業の募集協力。
2007	富士	教員の職場体験の受け入れ		中学校	高校	静岡県教育委員会が実施している教員の職場体験への協力
2211	碧南	平成20年度工業高校実践教育導入事業「愛知版クラフトマン21推進事業			高校	愛知県立鶴城丘・碧南工業・岡崎工業高等学校と西尾・岡崎・碧南商工会議所が連携して全国一の自動車産業や機械産業のサポート・インダストリーや食品産業等の郷土特有の優れた地域産業の技を継承し、地域の発展に貢献してきた中堅技術者の後継者となる人材(クラフトマン)の育成を図るとともに、地域社会と教育界とのパートナーシップの強化により、実践的な教育力の強化を図り、優秀な技術・技能者を輩出することによって、産業界の発展につながることをめざして事業を実施。(事業期間は、平成19年度から平成21年度の3年間)①クラフトマン 3年生25名 協力事業所6事業所②クラフトマンJr 2年生24名 協力事業所9事業所③インターンシップ 2年生235名 協力事業所83事業所④企業技術者等による学校での実践指導⑤教員の高度技術習得⑥熟練技能者等による講話⑦地域小学生向けものづくり教室等
2213	西尾	工業高校等実践教育導入事業			高校	2年生をクラフトマンJr、3年生をクラフトマンとし、地域産業を愛する後継者人材の育成を図る。具体的には、生徒の企業実習、企業技術者等による学校での実践的授業、教員の企業等研修を行う。
2503	彦根	教員の職場体験研修	小学校	中学校	高校	滋賀県が実施する教職歴5年経験者を対象として、企業において5日間の連続した日程で職場体験研修を行うもの。
2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校	(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高生、教員、保護者)・職場見学・職場体験・インターンシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催
2709	吹田		小学校	中学校		市教育委員会やNPO団体の依頼により、教員、生徒の民間企業体験研修(インターンシップ)の受け入れ先を斡旋している。
3301	岡山	教員の長期社会体験研修			高校	高校教師の半年間(前期・後期)の職場体験の協力。これまで過去8年間に20名の教師を岡山と倉敷商工会議所で受け入れた。今年度は、倉敷商工会議所大原会頭の美術館に1名が研修中。

3401	広島	工業高校等実践教育導入事業		高校	広島県商工会議所連合会が経済産業省から委託を受け、広島県教育委員会(文部科学省から受託)と連携し、県内工業高校5校の機械・電気系学科の教員14人が企業で20日間研修する。
3404	福山	工業高校等実践教育導入事業		高校	広島商工会議所連合会と文部科学省との共同事業として、広島市・呉市・福山市の工業高校の生徒のインターンシップ、熟練技能指導者による学校での指導、教員の企業での高度技術習得を実施。

<地元大学等との連携(人材育成、商品開発等)> 28商工会議所 33事業

CODE	会議所名	事業名	対象	事業内容
106	釧路	釧路高専地域振興協会	大学	1. 釧路高専を活用した企業人材育成 2. 共同研究 3. 会員企業社員による専攻科学生に対する特別ゼミナール 4. インターンシップ受け入れ 5. 学生の研究発表会の開催等。
203	八戸	八戸前沖さばブランド推進事業	大学	八戸前沖さばの地域ブランド形成のため、八戸大学と連携してホームページの運営、八戸前沖さばPR、各種イベント等を実施している。
604	米沢	米沢地域産業育成事業・山形県内陸地域産業活性化事業	高校	自動車産業を含む次世代産業で、中核技術であるエレクトロニクス分野の産業立地が多くある当地域で、その中核を担う人材を育成し、人材環境の最適化を図る。
703	会津若松	学会発表に対する助成	大学	会津大学の生徒が、国内外(海外が多い)での学会で発表するための交通費を全額助成する。
803	長岡	産学官民連携事業	大学	新技術・新産業の創出、技術力高度化の支援補助金活用説明会、産学交流事業の推進
803	長岡	長岡技術科学大学協会の運営	大学	長岡技術科学大学に協力するとともに、相互の連携を密にし、地域社会の発展に資する
807	新津	産学官連携協議会	大学	新潟薬科大学と連携した新商品の研究、開発 ・H19年度 かきのもとを使った「新潟茶漬け」 ・H20年度 ブチヴェールを使った「ぶち森シリーズ」
1007	白山	産学連携人材育成塾	大学	管内にある金城大学短期大学部との連携により、人材育成塾を5回開催した。経営管理層・管理監督者・中堅社員・若手社員・新入社員を対象に、この記載の順に行った。
1103	松本		大学	松本大学のまちづくり活動のサポート。学生対象の講義の実施
		工業高校等の連携・支援	高校	松本市工業ビジョン推進のため、地域工業高校・高専・大学との連携を図り、地域製造業との連携を深める。また、当所及び関連団体において地元工業高校への、旋盤等機械器具の提供
1204	日立	茨城県地域産業担い手育成事業	高校	茨城県の県北地域における産学官(工業高校等、電気機械関連産業、商工会議所、大学)の連携を強化し、ものづくりを支える専門的職業人の育成プログラムを開発し検証する事業。生徒の企業実習、企業技術者等の学校での実践的指導、教員の企業等での高度技術修得、専門高校等と企業・大学との共同研究などが主な事業。
1301	栃木	新たな栃木の歴史調査	大学	太平山神社の古文書調査
		栃木のお菓子調査	大学	魅力ある栃木市のお土産づくりのために既存のお菓子調査及び今後必要とされるニーズ調査を行いスイーツマップを作る
		蔵再生プロジェクト	大学	市内に点在する蔵を整備し観光客の誘客もため再生する
1302	宇都宮	うつのみや産学官連携推進ネットワーク	大学	産学官連携のマッチング機会の創出
1303	足利		大学	地元及び周辺大学等との連携事業。当所では、会員企業に向けて各種情報提供を行っているほか、地元足利工業大学の研究発表や成果発表に協力している。
1704	青梅	青梅奥多摩観光まちづくり事業	大学	地元大学(造形美術学部)と連携して、商店街に映画看板風の個店看板を作成して掲示した。
1801	横浜	サイエンスカフェ	高校	横浜国立大学との包括的連携協定の一環として、同大学が実施する「サイエンスカフェ」事業への後援・会場提供を実施。
1901	甲府		大学	山梨県立大学のゼミ生を中心としたまちづくりグループ「四菱まちづくり総合研究室」の中心商店街空き店舗への入居に対する家賃補助
2004	清水	しみず新産業開発振興機構の運営	大学	産・学・官が連携して新産業の創出、新製品の研究・開発を行う。
2102	大垣		大学	岐阜大学、岐阜経済大学、中部大学、早稲田大学WABOT-HOUSE研究所、岐阜工業高等専門学校と地域産業の振興を目的とした協定を締結し、大垣商工会議所の実施する中小企業の経営・技術相談事業に対し専門家派遣を依頼している。
		金型人材育成講座	大学	将来の企業誘致に備え、進出企業が求める発注条件(技術力・コスト・品質等)に対応するため、経済産業省地域企業立地促進等事業補助により、岐阜大学金型創成技術研究センターと連携し、西濃地域のものづくり産業を支える金型産業の高度化を図るプログラムを実施し、ものづくり企業の将来を担う金型人材を育成した。
2201	名古屋	名古屋商工会議所冠講座	大学	デザイン感覚に優れた人材の育成を目的に名古屋市立大学と連携し20年度から開始。本講座の特徴は、①県内大学であれば学部・学年を問わず受講可能で、かつ自校の単位との互換が可能。②国や自治体、企業など幅広い分野から第一線で活躍中の方々を講師とした鮮度が高くビジネス感覚に溢れた講義内容。③「プロダクツ・グラフィックデザイン」分野と「建築・まちづくりデザイン」分野を交互に開催。(21年度は「建築・まちづくりデザイン」分野)
2212	安城	愛知学泉大学との産官学連携事業	大学	愛知学泉大学との産官学連携事業として、「農商連携事業」として地元農産物を利用した新商品開発、「商店街支援事業」として中心市街地商店によるまちの教室事業を通じた個店の経営支援、「七夕まつりを通じたまちづくり事業」として安城七夕まつりへの学生の参画による地域コミュニティの推進、の3事業を関係団体等と連携して実施。
2220	犬山	学内企業説明会2回/年	大学	地元会員企業等の人材確保を支援する為、産学連携協定を結び、大学と連携し、同大学生を対象に学内企業説明会の開催(2回)

2504	近江八幡	近江八幡2010フォーラム			大学	環境についての取組みで、地元ポリテクカレッジ滋賀の校長先生に幹事として就任頂く。平成19年11月より、学校においても、エコイノベーション・エコテクノロジーをテーマに卒業製作に取り組む。2010年10月末までこのことが縁で、ポリテクの校長は、商工会議所が関係するほかの会議の委員としても依頼している。
2802	姫路	平成21年度地域資源∞全国展開プロジェクト事業			大学	農商工が連携した姫路産砂糖復活による特産品(菓子)開発。菓子関係業者・農産関係者・研究機関等・地域住民が有機的に連携することにより、砂糖の原料となるさとうきび(竹糖等)の栽培を復活させ、生産された姫路産砂糖を用いて、姫路城と並ぶ特産品(菓子)の試作を行う。
3007	紀州有田	有田川鵜飼の調査研究事業			大学	観光開発事業の一環として、有田川鵜飼の活性化をはかるため、新サービスの開発について調査研究を行う。
3102	米子	米子6:00クラブ		高校	大学	アフターファイブに気軽に集まれる情報交換の場(異業種交流会)として、平成15年7月より開催。
3801	松山	地域IT人材協働育成事業			大学	地域のIT人材育成を目的に、愛媛大学法文学部と連携して、社会人・学生を対象に「ITキャリアアップ講座」を実施。講座では、企業の現場で求められているITの有効な活用法について、企業のIT担当者等から学習している。
3801	松山	人材育成講座事業			大学	松山大学、松山市と産官学3機関による連携のもと、松山大学経営学部において、特殊講座「e-ビジネス実践論」を実施予定。学生、社会人を対象にネットビジネスに関する講義を実施する予定。
3801	松山	ふるさとふれあい塾 ～松山観光文化コンベンション講座～			大学	“松山の良さ”の再認識と観光客を温かく迎えるためのホスピタリティの向上等、人材育成を目的に、松山大学と連携して、学生及び一般市民を対象とした公開講座を開講。平成18年からの実施で、同大学の正式な授業(松山大学生は卒業単位の取得科目)。
4602	川内	魅力あふれる商店街活性化支援事業			大学	商店街への来客増加を図るとともに、商店街の活性化・再生への気運を醸成するために、鹿兒島純心女子大学の学生による中心商店街活性化委員会を組織し意見を集約し商店街活性化を図る。

＜民間人校長の推薦＞ 1商工会議所 1事業

CODE	会議所名	事業名	対象		事業内容
1701	東京	民間人校長の推薦	中学校	高校	東京都からの要望があった場合に実施。

＜教育機関(教育委員会等)への参画＞ 7商工会議所 8事業

CODE	会議所名	事業名	対象		事業内容
113	滝川		中学校		中学生を対象とした職場体験を支援する。「滝川市キャリア教育実行委員会」に委員として出席。受入企業の紹介等を行った。
606	長井	キャリア教育推進会議		高校	置賜管内(3市5町)の高校の職業体験を実施する上での、連携、協力、サポートなど。
906	砺波	14歳の挑戦	中学校		全国で実施の「14歳の挑戦」の実行委員会のメンバーに参画
1101	上田	ものづくり教育推進事業	小学校	中学校 高校	ものづくり教育推進検討委員会
2002	浜松	浜松科学館運営委員会	小学校	中学校	科学・ものづくり教育に対し、地域産業界として支援するため、各種企画の策定・運営に協力
2009	磐田	静岡産業大学参学会への参画 学校法人理事会への参画		大学	大学運営などの協議 学校法人運営の協議
3802	宇和島	魅力ある学科づくり検討会		高校	検討会に専務理事が委員として参画

＜各種講座・授業の実施＞ 34商工会議所 36事業

CODE	会議所名	事業名	対象		事業内容
103	札幌	経営者・企業家講話		高校	実社会で日々働いている企業人の立場から、社会人としての心構えを伝えることにより、児童・生徒の職業に対する意識を喚起する。
106	釧路	釧路高専地域振興協会		大学	1. 釧路高専を活用した企業人材育成 2. 共同研究 3. 会員企業社員による専攻科学生に対する特別ゼミナール 4. インターンシップ受け入れ 5. 学生の研究発表会の開催等。
308	大船渡	高校生の保護者向け就職支援セミナー		高校	就職を希望する高校3年生の保護者に対してのセミナー(今年度初開催)
603	鶴岡	就職を希望する高校生のための職業感醸成セミナー		高校	就職希望者の高校2年生を対象に就職活動準備セミナー。社会人の心構えなどを学ぶ。
605	新庄		小学校		祭りの歴史や、祭りにかける意気込みなどを、新庄市内小学3年生に講話
607	天童	天童少年少女発明クラブ	小学校		市内小学校3～6年生を対象に、毎月1回土曜日の午前中に様々なモノづくりを体験させる。年1回は企業の現場の方から指導をいただいている。
709	須賀川	珠算ボランティア事業	小学校		小学校の授業で珠算の実技講習
801	新潟	総合学習	小学校	中学校	「新潟まつり」の実施内容等について講義を実施。
807	新津		小学校	大学	・地元小学校の総合学習の一環として当所が運営している「まちの駅ぽっぽ」を会場に地域の歴史や文化等について説明している。 ・県内の大学からの要望により商店街活性化をテーマとした商工会議所の取り組みについて説明。
1102	長野				講演・講習会の企画・実施
1118	佐久		小学校		佐久の地場産品である「佐久鯉」を広く世代を超えて知ってもらい関心を持ってもらうため、地元の小学校に放流体験や佐久鯉を差し上げ育ててもらい、社会科勉強などに役立ててもらおう。また、佐久の鯉人倶楽部の御鯉役役頭が先生として佐久鯉に関する授業を実施。
1303	足利	そろばんボランティア	小学校		市内珠算塾の先生が、市内小学校3年生を対象に実施。20年度は、実施日数延べ31日間、19小学校で延べ3389人に対し授業を行った。

1304	鹿沼	子供産業界書き初め席書大会	小学校			市内小学生を対象に、参加者を募り、200名位の小学生が集まって、全員で書き初めを行い、市長賞、会頭賞以下の各賞を贈呈する。
1801	横浜	横浜インターンシップ制度事業			大学	横浜市内に本部を置く9大学と連携し、市内大学の学生の就労意欲の高揚と市内企業の人材確保の促進を目的に実施しており、学生を対象とした「ビジネスマナー講座」を開催のうえ、平成20年度は122名の学生を当所会員企業39社が受け入れた。
1515	狭山	クラフトマン21(狭山地域)～工業高校等実践教育導入事業			高校	埼玉県が事業を受け、県内4地域～川口・埼玉・熊谷・狭山が現場として事業実施。地元の工業高校と会議所が連携をとり事業実施する。狭山の場合、インターンシップ(2年生希望者:20名程度)・工場見学(1年生全員)・出前講座(企業人が工業高校で授業実施:年間10コマほど)・ロボプリント(高校と中学を結びライトレースロボットの作成)等を実践している
1604	木更津	夢工房2008	小学校			市内小学生を対象に木更津高専の先生及び生徒が講師となり、「ペットボトルロケット」や「ウインドカー」等のものづくり教室を8月18日会議所会館において開催。
1701	東京	各支部における教育支援事業	小学校	中学校	高校	地域の小・中・高校生等を対象とし、職場見学の受入、職業体験・インターンシップの受入、社会人講師の派遣、スポーツ等の指導員の派遣等が可能な企業に登録を募り、学校・教育委員会からの要請に応じ、連絡・調整等を行う(例:新宿総合学習サポート事業、荒川区教育支援ネットワーク事業、すみだ教育支援ネットワーク等)。子どもの理科離れを防ぐため、ロボコン、モノ作り教室、東大見学等を実施(例:荒川区自然科学フォーラム等)。企業支援事業として職場体験の受入企業の募集協力、セミナー等を各支部にて実施。
1802	横須賀	中学生“自分再発見”プロジェクト			中学校	中学2年生の総合学習の時間を体系化し、社会人との交流により、職業観・勤労観に対する興味や今後の学習への意欲・関心事につながる教育カリキュラムを、商工会議所が主体となり、市・市教育委員会とともに作成し、体験させるプロジェクト。
2002	浜松	やらまいかブランド講座	小学校	中学校		当所では、当地域の「特産品」や「隠れている優れた製品」に対してブランド認定事業(やらまいかブランド)を行っている。その認定された事業所の社長などが浜松市内の小・中学校で講座を開講し、当ブランドの地域内の啓蒙普及を目的とし、次代を担う子供たちに地域の産品を伝承してもらう。*「やらまいか」とは浜松地方の方言で「さあ、皆でやろう!」という強い意気込みを表現した言葉
2005	三島	三島少年少女発明クラブ	小学校			児童に科学技術に関する興味、関心を追求できる場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して、発明工夫の楽しさと創作する喜びを体得させることにより、創造性豊かな人間形成を図ることを目的に実施。今年度で5回目。
2102	大垣	金型人材育成講座			大学	将来の企業誘致に備え、進出企業が求める発注条件(技術力・コスト・品質等)に対応するため、経済産業省地域企業立地促進等事業補助により、岐阜大学金型創成技術研究センターと連携し、西濃地域のものづくり産業を支える金型産業の高度化を図るプログラムを実施し、ものづくり企業の将来を担う金型人材を育成した。
2115	羽島	キャリア教育プロジェクト	小学校	中学校	高校	C言語ロボット製作授業
2204	半田	教育シンポジウム	小学校	中学校	高校	「みんなで教育について考えていこう」と半田商工会議所の中に教育問題委員会を設立した。地域の中でも、そういうことを考えている方がいるので、そういう方たちと一緒に声をあげて、みんなでやりましょうという雰囲気を作っていきたい。それにはみんなで理解しあって共通認識を持つことができる場が必要である。そのために、大人数のシンポジウムではなく、小さな輪をくり返し、みんなが理解しあい、輪を広げていきたい。・テーマ/学校・地域の役割と連携・内容/パネルディスカッション・パネリスト 前・県立高校学校長、公立高校PTA連合会長、新聞社支局長、 当所副会頭・対象/半田市内小・中・高校の先生と保護者
2211	碧南	平成20年度工業高校実践教育導入事業「愛知版クラフトマン21推進事業			高校	愛知県立鶴城丘・碧南工業・岡崎工業高等学校と西尾・岡崎・碧南商工会議所が連携して全国一の自動車産業や機械産業のサポートインダストリーや食品産業等の郷土特有の優れた地域産業の技を継承し、地域の発展に貢献してきた中堅技術者の後継者となる人材(クラフトマン)の育成を図るとともに、地域社会と教育界とのパートナーシップの強化により、実践的な教育力の強化を図り、優秀な技術・技能者を輩出することによって、産業界の発展につながることをめざして事業を実施。(事業期間は、平成19年度から平成21年度の3年間)①クラフトマン 3年生25名 協力事業所6事業所②クラフトマンJr 2年生24名 協力事業所9事業所③インターンシップ 2年生235名 協力事業所83事業所④企業技術者等による学校での実践指導⑤教員の高度技術習得⑥熟練技能者等による講話⑦地域小学生向けものづくり教室等
		碧南市少年少女発明クラブ支援事業	小学校			発明クラブは、毎週日曜日(クラブ員は月1回、年10回)、碧南市ものづくりセンターにて、小学3年生から6年生までを学年毎に、紙や木を使った工作・電気工作など、ものづくりを通して、作る楽しさ、工夫する楽しさを学ぶ工作教室を実施している。夏休み期間には、自由工作教室(相談窓口)を開催している。その発明クラブへの支援事業を行っている。(発足に伴い、自動車シャーシカットモデル及び工作用備品購入のために300万円の寄贈をおこなっている。また運用支援として毎年150万円の支援を行っている。)平成20年度会員数229名
2222	大府		小学校			小学3年生を対象にした珠算教育のため、要請に応じる形で日本珠算連盟大府支部会員の珠算塾の先生をボランティアとして派遣。
2406	小浜	ふるさとしごと塾 ～働くよころび みんなで考えよう～	小学校	中学校		目的:学童期から自分に合った職業観や勤労観を醸成することを目的に、小浜市内の13小中学校で働く意義や喜びを伝える。内容:各校へ当所地域づくり委員会メンバーを派遣し、授業形式で行っている。1中学校では2年生約200名を対象に、委員3名と生徒代表2名、教諭代表1名によるパネルディスカッションを行った。
		地元企業人と語る会			高校	目的:就職や進学を控えた高校生に「働くこと」について考えてもらい、企業が求めている人材や、社会人になる心構えなどを伝える。内容:当所地域づくり委員会メンバー3名を派遣し、パネルディスカッション形式で進行。平成21年6月22日、小浜水産高校3年生70名を対象に開催した。
2501	大津	ものづくり体験学習事業	小学校			夏休み期間を利用して、次代を担う小学生を対象に、将来「ものづくり」を支える人材の育成と、地域の産業振興に繋げる目的から、大津市内の小学生を対象に「夏休み子ども理科工作・実験講座」を開講し、自分のアイデアでものをつくる喜びや新しいことを知る喜びを体験してもらう。

2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校	(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高校生、教員、保護者)・職場見学、職場体験・インターシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催
2701	大阪	経済産業省「社会人講師活用型教育支援プロジェクト」	小学校			・地元企業の社員やOBを「特別講師」として、小学5、6年生の理科の授業に派遣。児童が学ぶ理科と実社会とを結びつけた「生きた理科実験授業」を実施し、小学生の理科への関心を高め、理科離れを防ぎ将来のモノづくり人材の育成に寄与する。・平成20年度、経済産業省からの委託事業として実施。・平成20年度は、大阪市立の小学校67校・9,278名の児童に対し、21企業・3団体の協力を得て実施。
3001	和歌山	そろばん体験学習	小学校			珠算教育の振興を目的に、日本の伝統文化であり、集中力や忍耐力など、子ども達の様々な能力の向上にも効果がある「そろばん」に親んでもらうイベントを企画。小学生を対象に体験イベントや学習会を実施している
3402	尾道	校外学習			高校	市内商業高校の一年全員を当会議所大会議室に集合させ、尾道市の歴史、文化、観光、商工業等について集団講義をする。
3404	福山	福山少年少女発明クラブ	小学校	中学校		福山地域の小学4年生から中学3年生までの児童・生徒を対象に、年間固定のメンバーで20回程度の例会を開催。内容は、電気工作、木工など。定員は30名。クラブ会費は年間5,000円。専門指導員4名は、小・中学校の教員経験者や会社社長。
3905	宿毛	税を知る週間	小学校	中学校		青色申告会より講師を派遣して「税について」の出前授業を開催
4502	宮崎	宮崎大学教育文化学部ゲスト講義			大学	宮崎大学教育文化学部の現代社会学で中心市街地活性化事業についてゲスト講義を年2回実施している

<その他> 26商工会議所 27事業

CODE	会議所名	事業名	対象			事業内容	
103	札幌	こどもエコランドさっぽろ	小学校			北海道洞爺湖サミットが開催され、環境保全の取り組みにとって重要な年であることをふまえ、小さな子どもから、大人まで誰もが身近に環境保全の理解と意識をもっていただける場を提供し、生活様式や経済社会活動を環境にやさしいものとすることを目指し実施。イベントでは、子どもや家族が環境活動への関心を高め、日常生活で環境に配慮した行動を取るきっかけ作りを提供し、環境に配慮した商品の販売体験やリサイクル、リユースするものをイベントを通して学んでいただき、今後成長していく子どもたちに環境の大切さを体感してもらおう。	
117	美唄			中学校		美唄市内に存在する中学校3～4校の総合学習に対して、各種業種に分け企業(約20社)を紹介するため、職員が担当教諭を同行して各企業の担当者にお会いして趣旨説明等を行い、了解を得ている。	
207	むつ	元気まち創造サポーター育成事業			高校	高校生の社会体験	
605	新庄	ものづくり産業担い手育成モデル事業			高校	農工一体専門高校の特色を活かし、地域課題を解決する能力を持った地域産業を牽引する人材育成	
901	富山	産業観光モデルルート体験バスツアー	小学校			富山の産業観光を推進する上で、地元の子供達にこそ地元の産業にふれてもらい、理解し興味をもってもらうことが必要との考えから実施。夏休み期間中に、市内の産業施設の見学や体験等を行なう1日バスツアー。	
1102	長野	事業主委託訓練				求職者の就職促進に係わる職場訓練	
1118	佐久	ものづくりアイデア博覧会in長野高専			大学	長野高専3年生を対象に「こんな商品があったら、こんな改良品があったらもっと便利になる」などアイデアを募集し、イベントで表彰。入賞作品については、市内製造業・医療・建設・情報サービス業者が集まった「佐久ものづくり研究会」や有限責任事業組合佐久咲くひまわりなどの団体で商品化を検討する。	
1504	さいたま	まちかどコンサート	小学校	中学校		浦和地域中心市街地の新たな賑わいを創出するために、浦和地区内の小中学校の金管バンドクラブにより屋外コンサートを行った。	
1608	茂原	環境問題意識向上(絵画・ポスターの作成)	小学校			茂原市内の全14小学校の1年～6年までの生徒を対象に、環境に対する意識高揚を目的として、毎年実施している。6月に募集し、結果を8月の広報(新聞折込号)を通じて発表。優秀作品を市の施設に1週間展示。今年度実績:応募総数471点。応募学校数9校	
1612	東金				高校	大学	地元高等学校及び大学の協力をいただき、地域活性化策のひとつとして、空き店舗のシャッター一部分に地元の四季をイメージしたイラストを描いた。現在はシャッター前のスペースを利用して定期的に朝市を開催している。
1701	東京	教育問題委員会				平成3年より常設委員会を設置。教育基本法の改正等について提言のとりまとめ、キャリア教育についての企業アンケートの実施、報告書の作成等。本年度から教育再生を現場で実現するため、企業サイドから教育支援活動の推進に取り組んでいる。	
		東京都の教員採用面接委員の推薦	小学校	中学校	高校	都教員採用にあたり幅広い視点での多面的な人物評価を行うため、企業の人事労務担当者を面接委員として推薦。	
1802	横須賀				高校	大学	・大学生を対象とした就職模擬面接
1804	小田原箱根	教育旅行受け入れ事業	小学校	中学校		「教育旅行誘致」を切り口に、地域における観光客受け入れ態勢を整備し、産業の活性化を図る。	
2007	富士	キャリア教育推進事業	小学校	中学校	高校	地域における将来の人材育成のため、学校教育の早期(小学校高学年～)から働くことの意義や心構えなどを学ぶ「キャリア教育」の普及促進に向けて、講師の招いて当所青年部にて勉強会を行っている。将来は、地域に根付いたキャリア教育の推進を目指す。	
2011	熱海	地元高校新卒者雇用開発事業			高校	市内事業所の求人に対応し、県立熱海高校生管内就労の促進とその定着を図るため、①管内事業所における求人調査、②求人事業所への求人手続き指導、③高校への求人情報の提供、	

2204	半田	あいさつ運動ピンバッジ「天使のつばさ」作製・販売	小学校	中学校			あいさつ運動の機運を高めるために、あいさつ運動ピンバッジ「天使のつばさ」を12,000個作製し、1個300円で販売している。売上金で半田市内の小・中学校の児童・生徒(約12,000人)に無償で配布して、この運動を一層盛り上げることを目標にしている。このあいさつ運動ピンバッジを身に付けて、自分から積極的に挨拶をする意識を持っていただき、あいさつ運動の輪を企業から地域へ、そして家庭へ広がっていきたく考えている。
2211	碧南	碧南高校商業科・碧南工業高校機械・電子工学・環境工学科優良生徒表彰事業			高校		高校教育の人材育成と地域への人材定着、地域貢献を目的として、今春碧南高校商業科卒業予定者のうち、全国商業高等学校協会主催の情報処理、珠算・電卓実務、簿記実務など全8種目の検定試験1級等を取得した優良生徒19名、碧南工業高校3年間で各種資格試験合格優秀者15名に対して、榑垣田碧南市長、小笠原碧南市教育長、加藤碧南高校校長、清水碧南工業高校校長、恩師、当所正副会頭が見守る中、各自に表彰状を黒田会頭より授与した。開催日:2月20日、開催場所:当所、被表彰者34名
2407	鯖江	めがねワクWAKUコンテスト	小学校	中学校	高校	大学	メガネのデザインアイデア募集
2506	草津	若年者職業訓練					求職中の失業者で、35歳未満の若年者を対象に、職業訓練(パソコン操作等)を受け、技術を身につける実習コースで、独立行政法人 雇用能力開発機構が実施し、地域職業訓練協会が受託する事業で、その実習生を毎年2~3回(1回約1ヶ月)受入れている。
2701	大阪	大阪キャリア教育支援ステーションの設立と活動支援	小学校	中学校	高校		(大阪キャリア教育支援ステーションの活動内容)・社会人講師の紹介(対象:小中高校生、教員、保護者)・職場見学、職場体験・インターンシップ、教員の企業研修受入れ先の紹介・環境教育、理科実験授業をはじめとするキャリア教育活動への支援・キャリア教育プログラム・教材の開発・提供・企業向けキャリア教育啓発セミナーの開催
2814	龍野				高校		地元高校のデザイン科と企業との産学連携の橋渡し、つまり高校生のアイデアを実現できる(装置等を製作できる)企業を紹介している。
2817	加西	離職者委託訓練企業実習					ジョブカード対象事業で、公共職業訓練として、西脇地域職業訓練センターの座学と企業実習との職業訓練システムで、当会議所が企業実習部門を受け持つ。期間は1ヶ月で、安全衛生、接客接遇、一般事務などの実務を行う。今年度より新規に実施。
3005	御坊	きのくにロボットフェスティバル	小学校	中学校	高校		・企業ロボットの実演・和歌山県下での小・中・高のロボットコンテスト大会の実施 ・高専優勝チームの実演、高校ロボコンの実演
3802	宇和島	宇和島商工会議所青年部杯中学校軟式野球大会		中学校			青少年育成並びに技術の向上の見地から、4年前から開催、広島や四国内から12チーム参加いただき、当所青年部が運営全てを実施している。
3804	八幡浜	沖縄南風原町との児童交流事業	小学校				小学生児童(10~20名程度)の相互交流(ホームステイ)を行なうことにより、先人の偉業の再認識、また違った環境と歴史の勉強等学校の机上の学習では学べない体験学習を行い、児童の成長に寄与する。(5年生で訪問し、6年生で受入れる)
4501	都城	ハイスクールCookingコンテスト			高校		地場産品に対する認識のため、地元農業高校の食材を地元高校調理科の生徒が調理したものを審査して表彰する。